前期1 (医療薬学総論)

2024年 医療薬学総論シラバス 前期

回	項目「授業方法」(記号)	日付	曜日	時限	コマ数	SBOs	形式	実習内容	担当教員
1	事前学習の流れ 薬剤師が果たす役割「導入講義」	2024/4/16	火	45	2	A(1)-①-1 A(1)-①-2 F(1)-②-3	講義	1) 常に患者・生活者の視点に立ち、医療の担い手としてふさわしい態度で行動する。(態度) 2) 患者・生活者の健康の回復と維持に積極的に貢献することへの責任感を持つ。(態度) 3) 前) 患者・生活者の健康の回復と維持、生活の質の向上に薬剤師が積極的に貢献することの重要性を討議する。(態度)	523教室でガイダンス 臨床系教員 非常勤講師 (県薬副会長、県病薬会長、郡山薬剤師会長)
2	薬剤師の位置づけと役割・保険調剤「講義」 処方せんの法的位置づけ「講義」	2024/4/16	火	67	2	F(1)-③-5 F(2)-②-2 F(2)-②-3 F(2)-③-4	講義	5) 前) 薬剤師の関わる社会保障制度(医療、福祉、介護)の概略を説明できる。 [B(3)①参照] 2) 前) 処方オーダーリングシステムおよび電子カルテについて概説できる。 3) 前) 処方せんの様式と必要記載事項、記載方法について説明できる。 4) 前) 後発医薬品選択の手順を説明できる。	伊藤 鍛
3	薬剤師の使命と倫理「講義」	2024/4/19	金	45	2	A(1)-①-2 F(1)-②-1 F(1)-②-2 F(1)-③-1 F(1)-③-2	講義	2) 患者・生活者の健康の回復と維持に積極的に貢献することへの責任感を持つ。(態度) 1) 前) 医療の担い手が守るべき倫理規範や法令について討議する。(態度) 2) 前) 患者・生活者中心の医療の視点から患者・生活者の個人情報や自己決定権に配慮すべき個々の対応ができる。(態度) 1) 前) 病院・薬局における薬剤師業務全体の流れを概説できる。 2) 前) 病院・薬局で薬剤師が実践する薬学的管理の重要性について説明できる。	伊藤 鍛
4	服薬指導の意義「講義」 代表的な医薬品の服薬指導上の注意点「講義」	2024/4/19	金	67	2	F(2)-④-1 F(2)-④-2 F(2)-④-3 F(2)-④-4 F(2)-④-5 F(2)-④-6 F(2)-④-7 F(2)-④-8	講義	1) 前) 適切な態度で、患者・来局者と対応できる。(態度) 2) 前) 妊婦・授乳婦、小児、高齢者などへの対応や服薬指導において、配慮すべき事項を具体的に列挙できる。 3) 前) 患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。(知識・態度) 4) 前) 患者・来局者に、主な医薬品の効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用、保管方法等について適切に説明できる。(技能・態度) 5) 前) 代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。 6) 前) 患者・来局者に使用上の説明が必要な製剤(眼軟膏、坐剤、吸入剤、自己注射剤等)の取扱い方法を説明できる。(技能・態度) 7) 前) 薬歴・診療録の基本的な記載事項とその意義・重要性について説明できる。 8) 前) 代表的な疾患の症例についての患者対応の内容を適切に記録できる。(技能)	伊藤 鍛
5	チーム医療「講義」	2023/4/23	火	45	2	F(4)-①-1 F(4)-①-2 F(4)-①-3	講義	1) 前) チーム医療における薬剤師の役割と重要性について説明できる。 2) 前) 多様な医療チームの目的と構成、構成員の役割を説明できる。 3) 前) 病院と地域の医療連携の意義と具体的な方法(連携クリニカルパス、退院時共同指導、病院・薬局連携、関連施設との連携等)を説明できる。	大原

6	入院管理「講義」 地域連携と保健衛生活動1 「講義」	2024/4/23	火	67	2	F(1)-③-7 F(1)-③-8 F(3)-③-11 F(4)-①-3 F(4)-②-1 F(5)-②-1	講義	7) 代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について説明できる。 8) 入院から退院に至るまで入院患者の医療に継続して関わることができる。(態度) 11) 入院患者の持参薬について、継続・変更・中止の提案ができる。(知識・態度) 3) 前) 病院と地域の医療連携の意義と具体的な方法(連携クリニカルパス、退院時共同指導、病院・薬局連携、関連施設との連携等)を説明できる。 1) 前) 地域の保健、医療、福祉に関わる職種とその連携体制(地域包括ケア)およびその意義について説明できる。 1) 前) 地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動(薬物乱用防止、自殺防止、感染予防、アンチドーピング活動等)について説明できる。	中川
7	処方せんの種類・特徴 「講義」	2024/4/26	金	45	2	F(2)-②-7 F(2)-②-8 F(2)-②-9 F(2)-②-3 F(2)-②-5 F(2)-①-1 F(1)-③-15	講義	7) 処方せんの記載事項(医薬品名、分量、用法・用量等)が適切であるか確認できる。(知識・技能) 8) 注射薬処方せんの記載事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認できる。(知識・技能) 9) 処方せんの正しい記載方法を例示できる。(技能) 3) 前) 処方せんの様式と必要記載事項、記載方法について説明できる。 5) 前) 処方せんを監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。 1) 前) 調剤業務に関わる事項(処方せん、調剤録、疑義照会等)の意義や取り扱いを法的根拠に基づいて説明できる。 15) 薬局者の調剤に対して、処方せんの受付から薬剤の交付に至るまで継続して関わることができる。(知識・態度)	佐藤亜
8	服薬指導に必要な患者情報について「講義」	2024/4/26	金	67	2	F(2)-④-7 F(3)-①-1 F(3)-①-2	講義	7) 前) 薬歴・診療録の基本的な記載事項とその意義・重要性について説明できる。 1) 前) 基本的な医療用語、略語の意味を説明できる。 2) 前) 患者および種々の情報源(診療録、薬歴・指導記録、看護記録、お薬手帳、持参薬等)から、薬物療法に必要な情報を収集できる。(技能・態度)	佐藤亜
9	「患者に適した剤型を選択できる」 「PBL」	2024/5/7	火	4567	4	F(5)-③-1 F(5)-③-2	PBL	1) 前) 現在の医療システムの中でのプライマリケア、セルフメディケーションの重要性を討議する。(態度) 2) 前) 代表的な症候(頭痛・腹痛・発熱等)を示す薬局者について、適切な情報収集と疾患の推測、適切な対応の選択ができる。(知識・態度)	523教室、薬学部棟 臨床系教員 非常勤講師
10	特別な配慮を必要とする 医薬品2「講義」	2024/5/10	金	45	2	F(2)-⑤-3 F(2)-⑤-1 F(2)-⑤-2 F(2)-⑤-4	講義	3) 前) 劇薬、毒薬、麻薬、向精神薬および覚醒剤原料等の管理と取り扱いについて説明できる。 1) 前) 医薬品管理の意義と必要性について説明できる。 2) 前) 医薬品管理の流れを概説できる。 4) 前) 特定生物由来製品の管理と取り扱いについて説明できる。	中川
11	医薬品の管理「講義」	2024/5/10	金	67	2	F(2)-⑤-1 F(2)-⑤-6 F(2)-⑤-7	講義	1) 前) 医薬品管理の意義と必要性について説明できる。 6) 前) 院内製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。 7) 前) 薬局製剤・漢方製剤について概説できる。	大原・佐藤亜
13	代表的な疾患に使用される 医薬品の効能効果「講義」	2024/5/14	火	45	2	F(3)-③-2	講義	1) 前) 代表的な疾患に使用される医薬品について効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用を列挙できる。 2) 前) 主な医薬品の成分(一般名)、商標名、剤形、規格等を列挙できる。	伊藤銀
15	病態に適した用量設定 「講義」	2024/5/14	火	67	2	F(2)-②-1 F(2)-③-2	講義	2) 前) 病態(肝・腎障害など)や生理的特性(妊婦・授乳婦、小児、高齢者など)等を考慮し、薬剤の選択や用法・用量設定を立案できる。	中川
16	代表的な医薬品に使用される 医薬品の種類と特徴 「講義」	2024/5/21	火	45	2	F(3)-③-7	講義	7) 代表的な疾患の患者について、診断名、病態、科学的根拠等から薬物治療方針を確認できる。	中川
17	患者のアドヒアランス評価 「講義」 調剤の法的根拠「講義」	2024/5/21	火	67	2	F(2)-①-1 F(3)-③-3	講義	1) 前) 調剤業務に関わる事項(処方せん、調剤録、疑義照会等)の意義や取り扱いを法的根拠に基づいて説明できる。 3) 前) 患者のアドヒアランスの評価方法、アドヒアランスが良くない原因とその対処法を説明できる。	佐藤亜

18	院内感染 消毒薬の用途・使用濃度 「講義」	2024/5/24	金	45	2	F(2)-⑥-14 F(2)-⑥-6 F(5)-②-2 F(2)-⑥-4	講義	14) 院内での感染対策（予防、蔓延防止など）について具体的な提案ができる。（知識・態度） 6) 前) 代表的な消毒薬の用途、使用濃度および調製時の注意点を説明できる。 2) 前) 公衆衛生に求められる具体的な感染防止対策を説明できる。 4) 前) 感染予防の基本的考え方とその方法が説明できる。	大原
19	誤りを生じやすい処方と リスクマネージメント 「講義」 代表的なインシデント (ヒヤリハット)、アク シデント事例「講義」	2024/5/24	金	67	2	F(2)-⑥-1 F(2)-②-4 F(2)-②-5 F(2)-⑥-2 F(2)-⑥-7 F(2)-⑥-3	講義	1) 前) 処方から服薬（投薬）までの過程で誤りを生じやすい事例を列挙できる。 4) 前) 処方せんの監査の意義、その必要性と注意点について説明できる。 5) 前) 処方せんに監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。 2) 前) 特にリスクの高い代表的な医薬品（抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等）の特徴と注意点を列挙できる。 7) 前) 医薬品のリスクマネージメントプランを概説できる。 3) 前) 代表的なインシデント（ヒヤリハット）、アクシデント事例を解析し、その原因、リスクを回避するための具体策と発生後の適切な対処法を討議する。（知識・態度）	中川・松木（非）
20	リスクマネージメント 「SGD」（KJ法）	2024/5/28	火	4567	4	F(2)-⑥-2 F(2)-⑥-7	SGD	2) 前) 特にリスクの高い代表的な医薬品（抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等）の特徴と注意点を列挙できる。 7) 前) 医薬品のリスクマネージメントプランを概説できる。	523教室、薬学部棟 臨床系教員 非常勤講師
21	代表的な医薬品の副作用 「PBL」	2024/5/31	金	4567	4		PBL	代表的な医薬品の副作用の初期症状と検査所見を具体的に説明できる。	523教室、薬学部棟 臨床系教員 非常勤講師
22	医薬品卸業の基礎 1 「講義」	2024/6/4	火	45	2		講義		伊藤鍛
23	医薬品卸業の基礎 2 「見学」	2024/6/4	火	67	2		見学	Webによる見学	523教室、薬学部棟 臨床系教員 非常勤講師